

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 健康長寿課
 担当名: 母子保健担当
 内線: 3561

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B41	ウェルカムベビープロジェクト(普及啓発)		一般会計	衛生費	公衆衛生費	母子衛生費	不妊治療助成費		
事業期間	平成29年度～	根拠法令	少子化対策基本法13条			宣言項目	01 結婚・出産・子育ての希望実現		
					分野施策	010101 きめ細かな少子化対策の推進			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>晩婚化が進展する中、年齢を重ねるほど妊娠率は下がり、妊娠・出産に係るリスクが高まる。少子化対策の一環として、若い世代に対し妊娠・不妊に係る正しい知識の普及啓発を行うことにより、子どもを望む夫婦に対し早期受診の意識の向上を図る。</p> <p>(1) 冊子作成 △543千円 (2) 普及啓発 △5千円 (3) 気運の醸成 △1,578千円</p> <p>普及啓発の各事業経費節減による減</p>			<p>(1) 事業内容 少子化対策の一環として、若い世代に対し妊娠・不妊に係る正しい知識の普及啓発を行うことにより、子どもを望む夫婦に対し早期受診の意識の向上を図る。 ア 冊子作成 △543千円 イ 普及啓発 △5千円 ウ 気運の醸成 △1,578千円 普及啓発の各事業経費節減による減</p> <p>(2) 事業計画 ア 冊子作成 172,000部 イ 普及啓発 出前講座開催 20回 ウ 気運の醸成 こうのとり大使メッセージカード配布 等 エ 妊活推進 不妊に悩む夫婦を対象とした医師・助産師による相談</p> <p>(3) 事業効果 正しい知識の普及啓発を行うことにより、若い世代が結婚、子育てを含めたライフプラン形成の意識向上を図る。</p> <p>(4) 補正予算の概要 普及啓発の各事業の経費節約による減額</p>						
2 事業主体及び負担区分									
県10/10 (2) 冊子作成(一部) 県1/2 国庫1/2 (4) うち県相談事業 県1/2 国庫1/2									
3 地方財政措置の状況									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×0.8=7,600千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	△2,126							△2,126	13,580
現計額	15,706	3,051						12,655	